

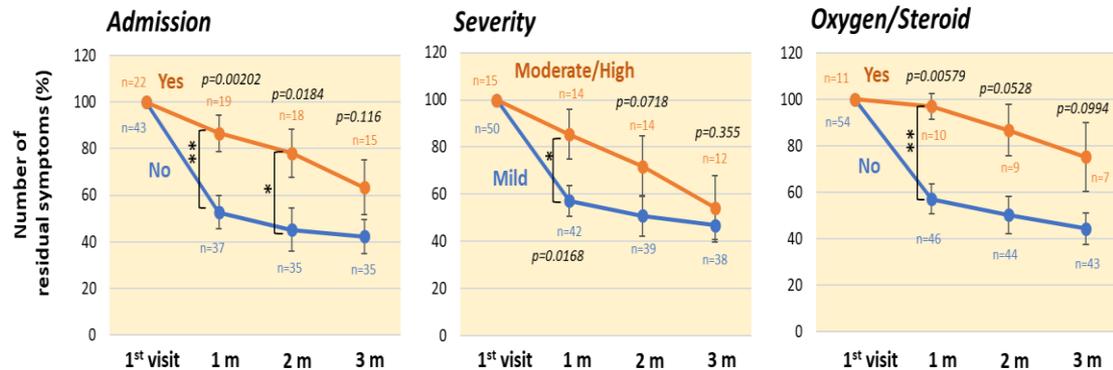
コロナ・アフターケア（CAC）外来における コロナ後遺症の症状推移と血清抗体価との関係

当科では2021年2月にコロナ・アフターケア外来を開設し、コロナ後遺症（Long-COVID/PASC）の診療にあたってきました。

新型コロナウイルス感染症の後遺症状は多彩です。本研究では、種々の後遺症がどのように経過するか、また症状の数と急性期の重症度や血清COVID-19抗体価との関連について検討しました。

解析の結果、後遺症症状の種類によって回復までにかかる期間が異なることがわかりました。また、コロナ急性期の症状が重症であるほど抗体価が高く、受診後1～2ヶ月間は多くの後遺症症状が残存しやすいという結果が得られました。

急性期の重症度や治療と 後遺症の症状数の変化について



Sakurada Y, Sunada N, Honda H, Tokumasu K, Otsuka Y, Nakano Y, Hanayama Y, Furukawa M, Hagiya H, and Otsuka F.

Serial Changes of Long COVID Symptoms and Clinical Utility of Serum Antibody Titters for Evaluation of Long COVID.

J. Clin. Med. 2022, 11, 1309; <https://doi.org/10.3390/jcm11051309>

